

大崎、大同が混戦抜け出す、女子は広島が地力勝ち

～ 第29回日本ハンドボールリーグ第4週～

第29回日本ハンドボールリーグ第4週は愛知などで男子5試合、女子1試合が行われ、男子では大崎電気がアラコ九州に競り勝って無敗を守ったほか、大同特殊鋼がホンダ、アラコ九州を連破、女子は第2週で初黒星を喫した広島メイプルレッズが北国銀行に30-22と完勝して上昇ムードをアピールした。男子はこれで第1ステージが終了、V7を狙うホンダは3位に甘んじ、前回3位の湧永製薬は勝ち星が伸びず6位と苦しい戦いが続いている。

ここまで4勝1分と単独トップを快走する大崎電気はアラコ九州と対戦。出だしはアラコ九州が呉相民の連打で好スタート、ノーマークミスなどでいまひとつ波に乗れない大崎電気だったが、10分過ぎに呉を密着マンツーマンするとアラコ九州の得点が止まり、スピーディな展開から岩本、宮崎らで加点して主導権を握った。そして16-12と大崎4点リードで迎えた後半、阪の活躍で7分16-18と食い下がっていたアラコ九州は、このあと退場者が続いてペースに乗れず、逆に宮崎、森本らで5連取した大崎電気が一気に混戦を抜け出した。アラコ九州は20分過ぎから7人攻撃を仕掛けて懸命に追撃したものの3点差まで詰め寄ったのが精一杯だった。

混戦が続く2位以下の争いは、大同特殊鋼がホンダに27-26と競り勝ち、アラコ九州戦も36-28で白星を握り、1試合多く消化しているとはいえ大崎電気と勝点11で並んだ。ホンダ戦は開始10分で3-8と5点ビハインドの大同特殊鋼が、金性憲のロングによる連続得点をきっかけにペースを上げ、20分10-10の同点とすると守りのリズムもよくなり、16-13と3点リードでUターン。後半に入ってホンダが加藤の7mTなどで3分16-16と同点に追いつくと、その後は両チーム一歩も譲らぬ展開となったが、同点、逆転のチャンスに好シュートを連発、後半だけで4得点をマークしたルーキー末松の活躍もあって大同特殊鋼が1点差で競り勝った。続くアラコ九州戦は後半10分22-23と逆転を許したものの、ここからエース金性憲が豪快なシュートで再逆転、中盤以降は大田、白元結らの得点をからめて勝利を不動のものとした。

このほかトヨタ車体-ホンダ熊本戦は、監督兼任の吉田、香川らでテンポよく加点したトヨタ車体が、GK木下の好セーブも光り、譚崇聖、若松らで粘るホンダ熊本を29-25で突き放した。ホンダ-湧永製薬戦は、両チームとも決定的なリードを奪えず一進一退を繰り返す中、後半13分過ぎから中谷のポストや速攻などで6点を連取したホンダが混戦を抜け出し、10分以上も湧永製薬のシュートをシャットアウトしたGK吉井の好守がホンダに白星をもたらした。

1試合のみの女子は広島メイプルレッズが北国銀行相手に30-22と快勝。立ち上がり北国銀行に3連取を許したものの、8分に青戸がサイドから飛び込んで初得点をマークすると、パスミス、シュートミスを繰り返す北国銀行の乱れに乗じて杉本、石山らで加点、中盤以降も着実に得点を伸ばし、13-9と4点リードで前半を折り返した。後半に入ると15分過ぎまで互いに8点ずつを取り合う互角の展開。しかし、試合巧者の広島メイプルレッズは北国・小野澤の退場から一気に加速、5連続得点を奪って試合の大勢を決めた。

第5週は男子3試合、女子1試合が組まれており、序盤から激しい順位レースが続く男子は、どの試合も1点を争うスリリングな展開が必至。首位の大崎電気はゲームがなく、大同特殊鋼、ホンダが上位グループに踏みとどまるかどうか、女子は“打倒・広島メイプルレッズ”に燃えるオムロンが北国銀行相手に3連勝を飾るかに注目。



大同特殊鋼は金性憲の活躍でホンダ、アラコ九州を連破

第5週の日程

[1部]

10月16日(土) 三重・四日市市中央緑地体育館(近鉄線新正駅徒歩10分)
宮崎・小林市市民体育館(JR吉都線小林駅徒歩10分)
沖縄・浦添市民体育館(バス停浅ノ浦徒歩3分)

17:00～□(男)ホンダ×アラコ九州
18:30～□(男)トヨタ車体×湧永製薬
13:00～□(男)ホンダ熊本×大同特殊鋼
15:00～□(女)オムロン×北国銀行

<p>10月9日(土) 男子1部 愛知・刈谷市体育館</p> <p>トヨタ車体 29 (16-15) 25 ホンダ熊本 2勝1分3敗 1勝0分5敗</p> <p><1/2> K 木下 藤田 K 7/9 田中勝 大宮 0/0 0/0 田中秀 米満 0/0 1/2 佐々木 上田 3/4 0/1 辻 本多 0/0 2/5 野村 大井 0/0 3/4 北出 佐伯 4/4 K 田平 松岡 K <0/1> 0/1 清水 若松 5/8 1/2 0/0 長谷川 松本 3/7 1/1 7/9 吉田 松延 K <0/2> 2/2 5/7 香川 譚崇聖 7/13 1/1 崎前 池辺 2/2 柳田 0/5</p> <p>3/3 26/39 9(FPP)5 24/43 1/2 審判(根来・青木) 観客 238人</p>	<p>10月9日(土) 男子1部 奈良・生駒市市民体育館</p> <p>大崎電気 32 (16-12) 29 アラコ九州 5勝1分0敗 2勝1分3敗</p> <p>1/1 2/7 豊田 田中利 K 0/0 加藤 高山 0/0 0/0 前田 村上直 5/5 5/7 中川 植木 0/2 1/1 佐藤 村上秀 6/10 1/2 永島 呉相民 7/10 1/2 5/5 岩本 佐久間 0/0 1/1 0/0 森本 鶴田 0/1 1/1 太田 田中慎 0/0 <0/1> K 濱口 阪 7/11 4/4 東 石黒 2/5 <1/1> K 石原 松野 K <0/1> 3/5 猪妻 朴正鎮 1/4 8/11 宮崎 吉田 K <0/1></p> <p>2/2 30/43 5(FPP)11 28/48 1/2 審判(坪井・河合) 観客 859人</p>	<p>個人賞レース途中経過</p> <p>まだ序盤戦の段階だが、男女1部の個人賞レースを見ていこう。 男子の得点王、フィールド得点賞争いは、いずれも上位4位までを外国人選手が独占。呉相民(アラコ九州)、譚崇聖(ホンダ熊本)、白元喆、金性憲(大同特殊鋼)と代表的なポイントgetterが名を連ねる。金性憲、呉相民は7mスロー得点部門でもトップを争う。 注目の宮崎、岩本の大崎電気勢が続き、大田(大同特殊鋼)、香川(トヨタ車体)ら、期待の若手も奮闘して存在をアピールしている。 シュート率賞では、前々回、前回のタイトルホルダー松林(大同特殊鋼)が8割を超えるアベレージをマークして快走中。7mスロー阻止賞では、際立った数字はないものの、石原(大崎電気)、田平(トヨタ車体)ら新鋭も健闘しているのが目を引く。 女子も金鎮順(広島メイプルレッズ)、劉晋淑(オムロン)、郭惠静(ソニーセミコンダクタ九州)と外国人選手が得点王、フィールド得点賞争いの中心となる一方、田中(ソニーセミコンダクタ九州)、杉本(広島メイプルレッズ)らも着々と得点を重ね、争いに割って入る勢い。劉晋淑、田中、杉本はシュート率賞でもしものぎを削っている。7mスロー阻止賞では、田代、田中の北国銀行コンビがともに5割以上のアベレージを残して、好ダッシュのチームを盛り立てている。</p>
---	--	---

<p>10月9日(土) 男子1部 奈良・生駒市市民体育館</p> <p>大同特殊鋼 27 (16-13) 26 ホンダ 4勝1分1敗 2勝1分2敗</p> <p><1/4> K 荻田 中谷 2/2 3/3 松林 鶴見 0/0 0/0 南川 柳本 3/4 2/2 峯村 河瀬 0/0 0/0 中谷 横地 2/7 0/0 市原 加藤 3/4 4/4 3/4 大田 広政 2/5 <0/1> K 日原 谷口 4/11 0/1 1/2 渡邊 千石 K <0/2> K 高山 本木 0/0 0/0 山本 野嶋 0/1 5/11 白元喆 阿部 3/6 3/3 4/14 金性憲 吉井 K <0/1> 6/10 末松 羽賀 3/4</p> <p>3/3 24/46 9(FPP)13 22/44 4/5 審判(楓・渡辺) 観客 917人</p>	<p>10月9日(土) 女子1部 広島・佐伯区スポーツセンター</p> <p>広島メイプル レッズ 30 (13-9) 22 北国銀行 2勝0分1敗 2勝0分1敗</p> <p>K 高森 田中 K <2/3> 6/6 土屋 渡邊 1/1 0/1 樹山 上町 4/12 4/5 青戸 前村 0/1 0/0 大前 中村 2/8 0/1 3/5 河本 北岡 6/8 0/0 菅野 小野澤 4/7 0/3 坪井 船井 0/0 1/4 呉成玉 武井 0/0 2/2 0/0 坂口 田代 K <2/3> 0/1 K 浅井 新田 0/1 6/10 杉山 山住 1/2 3/5 石山 井上 2/3 2/4 5/10 金鎮順 若松 0/0 0/1</p> <p>2/6 28/49 9(FPP)13 20/43 2/4 審判(武智・定岡) 観客 257人</p>	<p>10月11日(月) 男子1部 三重・四日市市中央緑地体育館</p> <p>大同特殊鋼 36 (19-15) 28 アラコ九州 5勝1分1敗 2勝1分4敗</p> <p><0/3> K 荻田 田中利 K <0/1> 4/5 松林 高山 0/0 0/0 南川 村上直 0/3 3/7 峯村 植木 7/10 0/0 中谷 村上秀 3/5 0/1 市原 呉相民 8/15 3/3 7/8 大田 佐久間 0/0 K 日原 鶴田 1/1 2/2 渡邊 田中慎 0/0 K 高山 阪 3/9 0/0 山本 石黒 2/5 7/11 白元喆 松野 K <0/3> 6/6 6/13 金性憲 朴正鎮 1/4 1/1 末松 吉田 K <0/2></p> <p>0/2 19/47 7(FPP)5 12/52 3/3 審判(浅野・神谷) 観客 717人</p>	<p>10月11日(月) 男子1部 三重・四日市市中央緑地体育館</p> <p>ホンダ 19 (8-8) 15 湧永製薬 3勝1分2敗 1勝1分4敗</p> <p>4/5 中谷 下川 2/8 0/0 鶴見 浜本 1/3 3/5 柳本 福田 0/0 0/1 河瀬 吉田 0/0 2/8 横地 小敷 0/0 0/1 1/6 加藤 東 2/9 1/1 4/7 広政 坪根 K <2/2> 0/1 2/7 谷口 小沢 3/13 2/2 <0/2> K 千石 杉山 0/0 0/0 鈴木 嶋村 K 0/0 野嶋 古家 1/8 3/5 阿部 渡辺 1/6 <0/1> K 吉井 山口 2/5 0/3 羽賀</p>
---	--	---	--

<p>北陸電力が順調に進撃</p> <p>2試合が行われた2部男子は、HC東京とのマッチレースが有力視される北陸電力が、地力を秘めるトヨタ自動車に33-17と快勝。北陸電力は1人に得点が偏ることなく、杉山、桜井、落合ら、それぞれが得点にからむ理想的な戦いを続けているのが特徴。 埼玉国体明けの11月3日、埼玉で行われるライバル・HC東京との直接対決第1戦が真価を問われる場所となる。 もう1試合の大阪ガス・豊田合成戦は、前半4点のピハインドを背負った豊田合成が、後半、エース佐藤、ルーキー原らを中心に大爆発。効果的な連続得点で逆転に成功し、今シーズン初勝利をマークした。</p>	<p>10月9日(土) 男子2部 福井・北陸電力福井体育館フレア</p> <p>北陸電力 33 (16-10) 17 トヨタ自動車 3勝0分0敗 1勝0分2敗</p> <p>K 西田 三上 2/4 3/4 高橋 厚沢 1/6 2/2 0/1 神甲斐 田 0/0 6/6 落合 大塚 0/0 5/9 桜井 坂口 1/3 5/7 前田 金子 0/0 2/3 高田 田中 4/7 2/2 6/10 杉山 吉永 0/5 4/6 北村 山倉 0/1 0/0 表 佐藤 K K 安藤 澤田 1/1 K 大藤 福本 K <0/2> <0/2> K 有江 香井 3/3 福田 3/8</p> <p>2/2 31/46 5(FPP)9 15/38 2/2 審判(高田・田村) 観客 150人</p>	<p>10月9日(土) 男子2部 兵庫・大阪ガス今津総合グラウンド体育館</p> <p>豊田合成 30 (14-18) 26 大阪ガス 1勝0分3敗 0勝0分3敗</p> <p>9/14 原 嶋崎 K <0/2> 5/7 山越 奥野 0/0 0/0 川島 三羽 5/11 1/1 3/3 0/0 門野 川野 1/1 0/0 桑田 大庭 2/4 2/6 湯脇 鳥平 5/6 K 名倉 浜田 0/0 7/11 佐藤豪 八幡 7/17 3/4 半田 向井 5/6 0/1 山田 鶴島 0/0 <0/1> 0/2 佐藤優 福田 K <0/1> 中村 0/0</p> <p>豊田合成にオウンゴールによる1得点あり</p> <p>3/3 26/45 5(FPP)10 25/45 1/1 審判(池淵・檜崎) 観客 48人</p>	<p>選手・役員追加登録</p> <p>(男子1部) ホンダ コーチ 四方 篤 10月11日より ・登録抹消 コーチ 広政 宜孝</p>
---	--	--	--

...日本リーグのホットな情報をどうぞ...

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

見どころをあなたのもとに郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHL ニュース」

年間20回発行予定/3000円(郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)

男女1部個人賞レース 第4週終了

《男子》 《女子》

得点王

1	吳 相 民 (アラコ九州)	59 点	(7試合)		1	金 鎮 順 (メイプルレッズ)	28 点	(3試合)
2	金 性 憲 (大同特殊鋼)	54 点	(7試合)		2	田中 美音子 (ソニー)	20 点	(3試合)
3	譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	41 点	(6試合)		3	劉 晋 淑 (オムロン)	18 点	(2試合)
4	白 元 喆 (大同特殊鋼)	36 点	(7試合)		3	杉本 絵美 (メイプルレッズ)	18 点	(3試合)
5	宮崎 大輔 (大崎電気)	34 点	(6試合)		3	郭 惠 静 (ソニー)	18 点	(3試合)
6	岩本 真典 (大崎電気)	33 点	(6試合)		6	菅谷 美奈 (HC名古屋)	15 点	(3試合)
7	大田 修一 (大同特殊鋼)	31 点	(7試合)		7	小野澤 香理 (北国銀行)	14 点	(3試合)
7	豊田 賢治 (大崎電気)	31 点	(6試合)		7	富田 有美 (オムロン)	14 点	(2試合)
9	香川 将之 (トヨタ車体)	29 点	(6試合)		9	北岡 久 (北国銀行)	13 点	(3試合)
10	東 慶 一 (湧永製薬)	28 点	(6試合)		9	中村 尚美 (北国銀行)	13 点	(3試合)
11	谷 口 了 (ホンダ)	26 点	(6試合)		11	水田 菜美子 (ソニー)	11 点	(3試合)
12	松林 克明 (大同特殊鋼)	25 点	(7試合)		12	土屋 友美 (メイプルレッズ)	10 点	(3試合)
13	若松 龍介 (ホンダ熊本)	24 点	(6試合)		13	佐久川 ひとみ (オムロン)	9 点	(2試合)
13	小沢 勝利 (湧永製薬)	24 点	(6試合)		13	石山 亜希子 (メイプルレッズ)	9 点	(3試合)
15	松本 博文 (ホンダ熊本)	23 点	(6試合)		13	加藤 恵理 (HC名古屋)	9 点	(3試合)
					13	佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	9 点	(3試合)
					13	吳 成 玉 (メイプルレッズ)	9 点	(3試合)
					13	上町 史織 (北国銀行)	9 点	(3試合)

フィールド得点賞

1	吳 相 民 (アラコ九州)	47 点	(7試合)		1	田中 美音子 (ソニー)	20 点	(3試合)
2	譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	41 点	(6試合)		2	金 鎮 順 (メイプルレッズ)	19 点	(3試合)
3	金 性 憲 (大同特殊鋼)	39 点	(7試合)		3	劉 晋 淑 (オムロン)	18 点	(2試合)
4	白 元 喆 (大同特殊鋼)	36 点	(7試合)		3	杉本 絵美 (メイプルレッズ)	18 点	(3試合)
5	岩本 真典 (大崎電気)	33 点	(6試合)		5	郭 惠 静 (ソニー)	16 点	(3試合)
6	宮崎 大輔 (大崎電気)	32 点	(6試合)		6	小野澤 香理 (北国銀行)	14 点	(3試合)
7	大田 修一 (大同特殊鋼)	26 点	(7試合)		7	北岡 久 (北国銀行)	13 点	(3試合)
7	香川 将之 (トヨタ車体)	26 点	(6試合)		8	中村 尚美 (北国銀行)	12 点	(3試合)
9	松林 克明 (大同特殊鋼)	25 点	(7試合)		8	菅谷 美奈 (HC名古屋)	12 点	(3試合)
10	東 慶 一 (湧永製薬)	23 点	(6試合)		10	水田 菜美子 (ソニー)	11 点	(3試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	松林 克明 (大同特殊鋼)	25点/ 31射	0.806		1	劉 晋 淑 (オムロン)	18点/ 24射	0.750
2	岩本 真典 (大崎電気)	33点/ 51射	0.647		2	田中 美音子 (ソニー)	20点/ 28射	0.714
3	大田 修一 (大同特殊鋼)	26点/ 41射	0.634		3	杉本 絵美 (メイプルレッズ)	18点/ 29射	0.621
4	香川 将之 (トヨタ車体)	26点/ 47射	0.553		4	北岡 久 (北国銀行)	13点/ 21射	0.619
5	譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	41点/ 80射	0.513		5	小野澤 香理 (北国銀行)	14点/ 24射	0.583

7mスロー得点賞

1	金 性 憲 (大同特殊鋼)	15 点	(7試合)		1	金 鎮 順 (メイプルレッズ)	9 点	(3試合)
2	吳 相 民 (アラコ九州)	12 点	(7試合)		2	富田 有美 (オムロン)	6 点	(2試合)
3	豊田 賢治 (大崎電気)	9 点	(6試合)		2	山田 千尋 (ソニー)	6 点	(3試合)
3	松本 博文 (ホンダ熊本)	9 点	(6試合)		4	坪井 美帆 (メイプルレッズ)	4 点	(3試合)
3	谷 口 了 (ホンダ)	9 点	(6試合)		5	吉田 祥子 (オムロン)	3 点	(2試合)
					5	佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	3 点	(3試合)
					5	村上 亜樹 (北国銀行)	3 点	(2試合)
					5	菅谷 美奈 (HC名古屋)	3 点	(3試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	坪根 敏宏 (湧永製薬)	3本/ 8射	0.375		1	田代 ひろみ (北国銀行)	6本/ 11射	0.545
2	石原 秀久 (大崎電気)	3本/ 9射	0.333		2	田中 麻美 (北国銀行)	3本/ 6射	0.500
3	濱 口 靖 (大崎電気)	2本/ 7射	0.286		2	浅井 友可里 (メイプルレッズ)	4本/ 14射	0.286
4	松岡 厚志 (ホンダ熊本)	2本/ 9射	0.222		3	飛田 季実子 (ソニー)	2本/ 7射	0.286
5	田平 龍太郎 (トヨタ車体)	4本/ 20射	0.200		5	勝田 祥子 (オムロン)	1本/ 4射	0.250

第29回日本ハンドボールリーグ成績表

第4週終了現在 10月11日

順位	1部男子	大崎電気	大同特殊鋼	ホンダ	トヨタ車体	アラコ九州	湧永製薬	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気		30	26	29	32	25	28	6	5	1	0	11	170	144	26
2	大同特殊鋼	20		27	37	28 36	26	27	7	5	1	1	11	201	176	25
3	ホンダ	26	26		26	27	19	23	6	3	1	2	7	147	134	13
4	トヨタ車体	19	21	19		29	23	29	6	2	1	3	5	140	161	-21
5	アラコ九州	29	28 28	29	21		20	22	7	2	1	4	5	177	202	-25
6	湧永製薬	24	20	15	23	29		28	6	1	1	4	3	139	143	-4
7	ホンダ熊本	26	23	18	25	21	30		6	1	0	5	2	143	157	-14

順位	1部女子	メイブルス'	オムロン	北国銀行	ソニー	H C名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルス'			30	33	35	3	2	0	1	4	98	86	12
2	オムロン				30	31	2	2	0	0	4	61	38	23
3	北国銀行	22			25	21	3	2	0	1	4	68	70	-2
4	ソニーセミコンダクタ九州	35	22	20			3	1	0	2	2	77	88	-11
5	H C名古屋	29	16	20			3	0	0	3	0	65	87	-22

順位	2部男子	H C東京	北陸電力	トヨタ自動車	豊田合成	大阪ガス	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	H C東京			26	37	39	3	3	0	0	6	102	36	66
2	北陸電力			33	36	33	3	3	0	0	6	102	59	43
3	トヨタ自動車	10	17		29		3	1	0	2	2	56	79	-23
4	豊田合成	13	23	20		30	4	1	0	3	2	86	128	-42
5	大阪ガス	13	19		26		3	0	0	3	0	58	102	-44

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。